

姫路・西播支部研究会 漢方研究会

フレイルと人参養栄湯 —健康長寿に向けて—

日時 4月22日(土) 午後3時～4時30分

会場 じばさんびる 602号室

姫路市南駅前町 123番 (JR姫路駅南口すぐ)

講師 鹿児島大学大学院 心身内科学分野 教授 **乾 明夫**先生

参加費 無料

共催 クラシエ薬品株式会社

高齢化の進む我が国において、予防医学の立場から注目されているのが、サルコペニアを基礎としたフレイル(frailty)である。サルコペニア(sarcopenia)は骨格筋萎縮をさし、加齢に伴うGH-IGF1系や性ホルモンの低下を背景に、急速に筋肉量の減少を生じやすい。フレイルは漢方で言う未病病態であり、フレイルを予防、加療することによる健康寿命の延長が愁眉の課題になっている。フレイルは補剤の良い適応であり、多成分系を特徴とする漢方は、多様な身体疾患や食欲不振・不安・抑うつ・認知など、心身両面の異常を示すフレイルの治療に威力を発揮するものと期待される。人参養栄湯は最強の補剤として、がんの緩和医療などに広く応用されてきた。本講演では、健康長寿に及ぼす人参養栄湯の作用とそのメカニズムを、エビデンスをもとにまたアンチエイジングの立場から述べてみたい。

FAX 078-393-1820

4月22日 姫路・西播支部 漢方研究会

参加()名

地区() 医療機関名()

氏名()

TEL() FAX()

お問い合わせは、協会事務局栗山、沖野まで

(TEL 078-393-1807、FAX 078-393-1820)

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No. 231 2017年4月5日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1803 FAX/078-393-1802

医院経営研究会

感想文 職員の“やる気”こそ パワーサイクルのアクセセル

協会姫路・西播支部は、2月18日に第5回医院経営研究会を姫路のじばさんびるで開催。「職員採用時の留意点～求人のポイント～」をテーマに、トータル人事・労務オフィスの社会保険労務士・嶺山洋子先生が講演を行った。医師、採用担当者ら16人が参加した(前号既報)。参加した栗尾整形外科スタッフの平尾有氏の感想を紹介する。



医院経営研究会に16人が参加

今年の1月から、統括の職をいただき、労務管理に携わるようになりました。「労務管理とはなんだ?」というところから出発し、模索しながらも、組織は人だと身をもって感じていました。そんな中、院長から嶺山先生の研修会に参加する機会をいただきました。

「人は成長したいと思っている」=育成していく環境をつくる。それがいい仕事ができる→患者様の満足度が高まる!

なるほど。日々の業務に追われるばかりで、職員の士気が上がるような、当院の理念を伝える任務の重要性を実感しました。離職率低下が利益向上につながる、組織は人だ。その通り。

職員とのコミュニケーションを活性化し、職員が思いを感じていることを把握する。管理する立場になると職員の声が届きにくくなるため、十分に配慮しないと

2面に続く—

—1面の続き



嶺山洋子社労士が講演

いけないなと思いました。

採用が必要なプラス背景とマイナス背景。その中で今回の講演を聞いて改めて、原点に戻り、いいチームワーク作りをいま

一度見直すことから始めようと思いまし

た。いいチームワークの組織が勝つ！そこに患者さまが集まる。しっかりと当院の目標や経営理念を職員に浸透させ、それを軸に職員のやる気が一方向を向くように、毅然とした労務管理を実践していきたいと思いました。

言葉では簡単ですが…。私も職員と一緒に育成させていただこうと思っております。

【相生市・栗尾整形外科スタッフ

平尾 有】

ご家族・お知り合いの先生をご紹介ください

協会では、4月より「組織強化月間」に取り組んでいます。

これまでも多くの新規開業、病院勤務の先生方に保険請求対策、審査指導対策、新規開業医研究会、臨床研究会、歯科定例研究会等の参加、3大共済制度（保険医年金・グループ保険・休業保障制度）への加入などで、ご入会をいただいているところです。

会員の先生はもちろん非会員の先生にも「頼りになり役に立つ協会」を知っていただき、身近な存在と感じていただければと考えております。

つきましては、ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ等は、組織部（Tel 078-393-1817）まで



支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしく申し上げます。

お問い合わせは、Tel 078-393-1807 F A X : 078-393-1802

E-mail : kuriyama-h@doc-net.or.jp

担当事務局；栗山まで

姫路市新病院説明会

新病院に不安・懸念の声相次ぐ

姫路市は2月25日、姫路キャスパホールにて、県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画についての住民説明会を開催した。ホールには多くの市民が集まり、病院合併についての姫路市の説明に対して疑問の声が出された。



多くの市民が市担当者の説明を注意深く聞いた

住民説明会では、まず兵庫県病院事業副管理者である佐藤二郎氏が、両病院の統合再編基本計画の概要について説明した。佐藤氏は、平成19年に、姫路市内の救急患者が19病院から受け入れを断られ死亡した事案に触れ、中・西播磨地域の救急医療体制が整っていないと現状を説明。兵庫県平均と比べても、受け入れまでに時間がかかっていると、その原因として24時間三次救急対応可能な病院がない上、中・西播磨地域の医師不足が問題の背景にあるとした。

佐藤氏は、現状の打開のために、両病院を合併し、736床からなる新病院「県立はりま姫路総合医療センター（仮称）」を設置し、高度専門・急性期医療の提供を担うと説明した。医師不足については、医師就学資金貸与制度の創設、臨床研修医研修システムの構築に加え、兵庫県養成医が今後飛躍的に増加することが見込まれており、ドクターの確保は可能との考えを示した。

製鉄記念広畑病院の跡地については、合併後の姫路市南西部地域の医療提供のため、新たな病院を誘致するとした。

続いて姫路市都市拠点整備本部副本部長の松本孝明氏が、新病院に隣接して建設される文化コンベンション施設について説明。2000名を収容できる大ホールを始め、展示施設や音楽演劇練習場などを含む、文化交流施設を建設するとした。

姫路市の説明に対して市民からは、文化センターと新病院建設により周辺道路の渋滞が予想されるとし、救急車による急患の搬送に影響が出るのではないかと不安の声が出された。またドクターヘリの活用について、住民への騒音被害を懸念する意見が出された。加えて、そもそも計画が最終段階になった時点での住民説明会は遅きに失したものであり、住民の声を新病院に反映させようとしていないと、姫路市を批判する意見も出された。

協会姫路・西播支部は、幹事会でこの問題を引き続き討議し、地域医療構想と一体である新病院が市民の福祉充実につながるよう、市議会、県議会に働きかけを続けていく。